

# 令和元年度の事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 居場所創造プロジェクト

## 1. 事業の成果

元年度は、会員、コア・ボランティアメンバー、各種団体等の支援・協力のもと、「各種助成金」の活用及び寄付金や事業収益等により、居場所ハウスの人員体制・財政基盤の強化と安定した運営を図ってきたところである。

また、地域の高齢者等を中心として、それぞれの役割を果たしながら、様々な事業を積極的に展開し、コミュニティの創出と伝統文化の継承に努めながら、地域包括的な役割をはたして来たところである。

「居場所ハウス」の来訪者の中心は末崎町の高齢者だが、放課後や休日には子供たちが遊びにきたり、町外からの来訪者及び多世代の人々が各種講習会・教室・催事等に多くの来館・参加があり、交流が図られ活発に行われた。来訪者数7,073人、一日平均の来訪者数は23.7人となっている。

### (1) 組織・運営の継続強化

#### ① 会員・支援・ボランティアメンバーの協力・確保及びパート雇用によるサポート

元年度は、支援者・協力者及びパートの雇用により、多世代がふれあう場所・楽しむ場所・育む場所として、町内外・地域住民の来訪・利用者や市外からの視察・見学者等を迎えたことや居場所ハウス各種事業の準備・開催に対応したことは、今後の運営・活動の継続の励みとなった。なお、居場所ハウスの果たす重要性を考え、「共に考え共に学び共に担う」ことを念頭におきながら、役割分担を再認識し活動することが肝要と考える。

さらに継続運営のためには、担い手の確保及び正会員・賛助会員の拡大・町外企業寄附の勧誘及び自主事業の改善・充実による組織基盤の強化による、自主運営が求められる。

※企業等からの継続寄附金等 (株)メディアリンク様・山岸冷蔵(株)様・綾川正子様・形見滋三様・鈴木雅子様・細川貴孝様他からあり、貴重な運営資金となっている。

また、復興庁から復興に対し多大な貢献が認められ、令和元年度「新しい東北」復興・創生顕彰受賞や数多くの見学・訪問者との出会いは、今後の居場所ハウス運営・活動の進展に繋がるものと確信する。

なお、町内の人口減少、少子化、高齢化、特にも災害公営住宅・防災集団移転住宅の高台移転は、3年目を迎えているが、一人世帯・夫婦世帯が増加してきたことから、心のケアや孤立の防止及びコミュニティの構築のため、居場所ハウスへの役割が大きく期待・要求されることから、組織基盤(資金・人員)の充実強化を図るためにも、絶対的に支援者・協力者の確保が肝要である。

#### ② 定例会の開催

毎月1回、運営状況と翌月の行事や課題及びコアメンバーの当番決定や改善点等について、報告・協議を実施してきた。

今後においても、様々なことを、多くの事を話し合うことが、円滑な運営・活動に繋がると考える。

なお、定例会の重要性の認識と協議内容の共通把握には、メンバーが一人でも多くが参加できるよう、お互いに行事等に配慮していただき、連絡を密にしながら開催することが肝要と考える。

また、新たに外部団体にも、定例会に参加してもらい居場所ハウスの運営・活動の助言・提案をいただき、今後の活動の参考としたい。(現在は、末崎町婦人会、共生地域創造財団が参加)

#### ③ コアメンバー・支援員による施設運営・活動支援

一週間のうち3日間をパートと3日間をボランティアの協力により、来客の対応や食堂の運営をしてきた。

また、朝市や催事等では、コアメンバーやボランティア団体等により施設運営・活動を円滑に推進したところである。このような有効的な体制を構築し継続するために、今後も、多くの町民の皆さんに対し仲間同志で積極的に声掛けし、コアメンバーやボランティア・各種団体等の拡大に努め、継続的・効果的な施設運営・催事等を実施することが肝要と考える。

## (2) 組織体制の確立と人材育成

NPO 法人居場所創造プロジェクトの運営・活動は、設立から7年目を迎え、これまでコアメンバーやボランティア及び各種団体等によるご指導、ご支援ご協力により問題解決をしてきた。

また、組織体制の確立・会計システム等の充実と円滑な推進のため、企業 NPO 岩手交流会・復興庁主催のさんりく事業成長セミナー交流会、いわて復興支援センター、大船渡市市民活動センター、デジタル公民館けん交流会・研修や花巻市への調理等研修2回、及び居場所ハウスで開催のシニアパワーいわてによる会計ソフトの指導を受け、運営・活動に対する認識を強く持つことが出来、運営体制の確立・継続運営には効果的だったと考える。今後は、コアメンバーやボランティア対象のセミナーを開催し、意識の向上に努めていくことも必要であると考えている。

## (3) 六周年記念感謝祭・朝市合同開催

6月15日(土)、居場所ハウスがオープンから六周年を迎えたことから日頃の感謝及び地域住民とのより一層のコミュニティ構築や地域活性化の進展及び居場所ハウス利・活用に対する、使用者への感謝を込めて六周年記念感謝祭を開催した。地元末崎町出身の舞踊家「さすけ会」の勇壮・華麗な舞台出演や民謡協会の尾形三昭さんの尺八演奏・民謡とカリタス大船渡の応援出演で、八戸高校の生徒による歌などで、楽しく賑やかで盛大に開催された。

また、朝市を同時開催し、新鮮野菜・魚介類・やきそば・焼き鳥・衣類・大判焼き・野菜苗・バザーなど会場内に店出され、多くの来場者で賑わった。来場者の方で「居場所ハウスに来ると楽しい。知り合いにも久しぶりに会えてうれしかった」と満喫した様子であった。

この祭りには、コアメンバーやボランティア及び支援員など約50名のメンバーが結集・協力のもと開催された。感謝ですご苦勞様でした。好天にも恵まれたことや無料シャトルバスの運行により、町内外から多くの皆さんが来場し約150名の参加があった。その中でも、被災者を含め参加者は、会を重ねる毎に様々な人々が交流・来場しており、大変有意義で効果的な六周年記念感謝祭で終日賑わった。

## (4) 朝市の開催

朝市の開催は、毎月第3土曜日に、毎回約12店舗以上の店出があり、居場所ハウスのメンバーやボランティアの皆さん(約25名・準備含め)の協力により、賑やかに充実した内容で開催されている。

朝市は、町内外からの店出があり、居場所農園の野菜・生花・衣料品・鮮魚・郷土食品・オリジナル焼き鳥・海産物・シイタケ・乾物・履物・刃物研ぎが店出している。周知等の効果があり、高台移転者、町外等の来場者が増加しており、毎回平均70名の来場者で賑わっている。

このことは、地域の食生活環境の向上や親睦交流の場となるとともに、つながり・ふれあいの場の創出と新たな地域コミュニティの創出に貢献されているものと確信する。

## (5) スマイル食堂の開設

震災から9年を過ぎた今でも、近隣地域には、気軽に食事ができる飲食店がほとんどないため、特に、高齢者・被災住民にとっては、暮らしにくい食生活環境となっている。そのことから、2015年5月に食堂をオープンした。居場所ハウスの支援者やボランティアの皆さんの協力により、メニューなどの充実・改善を重ねて、配達を含めた昼食(木曜日休み)を提供してきた。徐々に来場者・配達が増加しており、日常生活において地域住民・高台移転住民の食生活・利便性の向上及び交流・ふれあいの場となっている。利用者数延べ2,930人、一日平均利用者10人

今後も、メニュー等の改善や配達地域を拡大及び各種団体等の会議や災害住宅にチラシ等で配達等を周知しながら、皆さんに喜ばれるスマイル食堂を目指すことが重要である。また、継続運営には、高齢化等による調理メンバーの確保が課題となっているので、居場所通信への掲載や各種団体への協力及び町内外に向けた声掛け等による確保が肝要と考える。

#### (6) 居場所農園づくり

居場所ハウスでは、2013年の夏から「居場所農園」をつくり、朝市での販売や食堂で使用するため、多種類の野菜をつくり育ててきた。元年度は、居場所ハウス前での直接販売を実施し、近隣住民や高台移転者等の食生活の一助となった。

今後は、町内及高台移転者の方々にも、体験型農作業の開催に向けた声掛けを行い、交流の場や活躍の場の創出と食生活支援に努めるものとする。

#### (7) こどもの日鯉のぼりまつり

5月3日にこども鯉のぼり祭りを開催した。こどもの健やかな成長を願って笑顔で楽しく触れ合い、より一層絆を深めるため開催。元年5月で6回目を迎えた。会場には大小さまざまな鯉のぼりや大漁旗が掲げられた。可愛い末崎保育園児による踊り・和太鼓演奏「三扇会」・ロボット「パルロ」の歌・ビンゴゲーム・川村さんの風船アートで会場を盛り上げた。ゲームコーナーでは、手作り鯉のぼり体験、シャボン玉あそび、射的・ヨーヨー釣り・ホタテ貝殻投げ・ほや釣りゲームが行われ子供たちに大人気でした。手作り鯉のぼり・焼きそば・花見団子の販売・フリーマーケットコーナーも好評であった。多彩に行われ地域住民の多世代交流を深めながら楽しんだ様子であった。来館者は約260名で賑わった。

#### (8) 居場所ハウス納涼盆踊り・ひな雛祭りとお茶会・ミズキ団子づくりと餅つき会の開催

①8月15日に納涼盆踊りを開催したところ、曇天であったが約120名の参加者でにぎわった。

地域に伝わる伝統文化・行事を学びながら、末崎町の風土に受け継がれていくことの大切さや地域住民及び被災者と帰省者が楽しみながら交流を深め、地域コミュニティの構築実現を目指すため開催した。お盆の帰省者や地域住民の日常生活のリフレッシュになったものと確信する。

今後も継続し開催する意義があるものと感じた。各コーナー運営は、居場所メンバーと地域の若者や婦人会、カリタスジャパン大船渡ベースなどボランティアの皆さんの協力支援で、手作りうちわ・射的ゲーム・ヨーヨー釣り・流しソーメン・焼き鳥・スイカ割り・花火・ビアガーデンも好評で、夏のひとときを楽しんだ。

②1月11日(土)、ミズキ団子づくりは、最近あまり行われなくなった小正月行事を楽しんでもらい、家庭でもこれから続けてもらうために開催した。老人クラブ、学童クラブ、地元の小学生ら約30名参加した。

この日は老人クラブの皆さんに教わりながら、小さく丸めて水木に飾った。その後は、サロンの皆さんと一緒に会話を楽しみながら、みたらし団子を美味しく食べた様子であった。小正月行事のミズキ団子づくりを通して、ふれあいと交流を深めた。地域に根付かせる文化の継承として、今後も継続して行きたい

③2月11日(日)、雛祭りとお茶会の開催では、地域文化の継承が大切であるとの思いから、6年前から、町内住民や仮設住民を対象に開催した、七段飾りのひな人形や昔の土作り雛人形、つるしびなで会場を華やかに彩った。当日は、親子・住地域住民30名の参加が訪れ、一足早く春の気分を味わった。

また、同時に茶道の滝田先生がお点前を披露。「末崎小学校3年女子」も加わり、来場者をもてなした。会場に足を運んだ住民は、温かいお茶とおもてなしで、心と体を癒した。があり楽しく盛況なひな祭りとなった。今後も、伝統文化の継承のため、工夫を重ねながら積極的に推進して行きたい。

### (9) 居場所ハウス親子物づくり教室の開催(どこ竹 in まっさき・下地悠太さんの協力)

①8月5日の夏休み親子・祖父母物づくり教室では、どこ竹 in まっさきの皆さんの協力を得て、親子・祖父母13名と多くの参加があり、竹細工によるカブトムシや、昔懐かしい水鉄砲づくりを楽しく体験した。

このことにより、さらなる親子・祖父母のふれあいを深めるとともに絆をより一層強めたものと思う。

②1月5日の冬休み親子物づくり教室では、末崎町の大場久雄さんを講師として、「万華鏡」制作を、親子で触れ合いながら作る楽しさ、面白さを体験した。冬休みの思い出や宿題の工作にもなった様子でした。参加者は約親子20名。

### (10) 絵手紙教室

9月24日、地元の桑原サキ子さんを講師として絵手紙教室を開催、町内から6名が参加した。参加者は始めに輪郭を描くための筆遣い等を学び、その後は、野菜・果物をモデルに温かみと各自の個性がある絵手紙を完成させた。難しいと言いつつも充実した表情を見せながら、絵手紙の魅力を感じとった様子であった。今後は、町外にも参加を呼びかけ、多くの皆さんに絵手紙の楽しさを普及して行きたい。

### (11) クリスマスリースづくり教室

12月14日(土)、クリスマスリースづくり教室を初開催した。講師を務めたのは、ハンドメイド品の制作・販売などを行っている立根町の菅野香澄さん。当日は、町内外から約12名の参加があった。ヤナギで作られた輪にデコレーションを施す方法で、輪に好きな色、形の装飾品を配置し接着剤で固定。子供と一緒に制作、笑顔で楽しい教室となった。これからも、機会をとらえ継続開催して行きたい。

### (12) 暮らしの介護講座・相談会及び自分のからだを知る健康講座

①隔月1~2回、地域住民・高台移転住宅住民に対して、日常の介護の仕方・困り事の相談会を開催し、日常の介護に対する生活環境改善・向上に努めた。認知症は脳の病気、認知症となることを受け入れ、周りの人と一緒に乗り越えていけば後悔しないこと。老いを受け入れ、くよくよしないことを覚えてほしいと呼びかけていた。典人会の職員を委嘱し「暮らしの介護講座・相談会」を開催したところ延べ42名の参加があったことは、介護に興味があることの証であり、一定の成果があったものとする。

②11月8日開催した介護予防教室は、社会福祉法人典人会の内出幸美氏を講師として「共に癒されるハンドケア」講座が開催され、地域住民31名が参加した。特に災害時において手のケアの大切さと注意すべきポイントの解説やタオルを使用したケアについて学び汗を流した。初めての体験で有意義な予防介護教室となった。自分の体力を知り健康の大事さを感じた様子であった。

#### ③体力測定会と体力づくり講座

10月5日(土)に、6月に測定した結果と今回の測定数値を比較し、体の変化を確認するため、気仙苑のリハビリ理学療法士と市健康推進課の保健師を講師として開催した。地域住民13名が参加し、握力や座位前屈を行い、手足の力、柔軟性、バランスをチェックした。また、体組成計を用い体脂肪、内臓脂肪、足や腕の筋肉量を半年前と比較しながら測定した。測定後は、注意すべきポイントの解説や家庭でもできる体操で汗を流した。あらためて身体状の状態を知り、健康な生活を送るの大事さを感じた様子であった。

### (13) わらしっこ見守り広場(子ども一時預かり)

4歳から6年生までを対象に、保護者の方が一時的な都合で世話ができない子どもを無料で一時預かりし、子ども・子育てを支援するため、毎週土曜日・振り替え休日の月曜日・学校行事等による臨時休校日の10時から16時まで、元教員と保母を中心に、わらしっこ見守り広場を開設している。利用者は少ないが、夏・秋の居場所つ子クラブの開催では延べ62名の参加者があった。また、来館する子供や行事における見守りを実施した。今後も、地域の実情を見極めながら、継続実施することが肝要と考える。

### (14) 基石健康サロン

毎月1回第火曜日、大船渡共生まちづくりの会の協力により、基石地区等の高齢者を対象に、日常の生活を健康で楽しく過ごすために、基石健康サロンを開催した。お茶っこを飲みながら、世間話や時には居場所ハウスへの協力として、つばきの殻むき作業を実施し、ふれ合いを感じながらのサロンとなっている。

今後も健康で楽しい日常生活を過ごすために、皆さんとともに仲間を増やす工夫しながら、継続できればと考えている。(大船渡共生まちづくりの会の上関 優さんの送迎などの協力で実現しているものです)

#### (15) 健康体操・ノルディックウォーキング

健康体操教室は、地元の熊谷侑希さん、ノルディックウォーキングは、赤崎町の今野オワ子さんを講師として開催。居場所ハウスでは、町民の皆さんが毎日を健康で楽しい日常生活を過ごすために企画している。

健康体操は、毎月第2日曜日開催しており、軽体操から始まりボールを使った体操などによって、体と頭を使い脳の活性化となり楽しく実施している。参加者は毎回約8~10名である。

ノルディックウォーキングは、毎月第4日曜日開催しており、講師の指導のもと準備体操後に、皆さんが歩けるコースを決め、心地よい汗を流し楽しく会話をしながらのウォーキングとなっている。参加者は新たな人も増えており、嬉しいことである。参加者は毎回約7~10名である。今後は、月2回の開催を目指し、より一層の楽しい健康づくるとふれ合いの機会としたい。

#### (16) 居場所健康サロン

毎週1回水曜日、典人会の協力により、町民を対象に、超高齢化社会や高台移転者等の心身のケア・孤独死・生活不活発病を防ぎ、日常の生活を健康で過ごすために、居場所健康サロンを開催した。体操・様々なゲーム・お楽しみ会・紙芝居等を実施しており、交流するなかで触れ合いも生じ、平均11名の参加があり増加傾向は嬉しい、毎回楽しい健康サロンとなっている。このことは、日常の健康な生活環境向上にも大いに役立っていると確信する。今後も健康で楽しく過ごすために、皆さんの協力のもと継続できればと考えている。(健康サロン46回延べ382人) 3月は新型コロナウイルスの感染防止のため中止とした。

#### (17) 歌声喫茶

毎週第3火曜日、元教員や町内の皆さんが歌を通じて、日常生活を健康で楽しくうるおいのある生活を過ごすために、にぎやかに歌声喫茶を開催している。唱歌や歌謡曲などバラエティーにとんだ歌で楽しんでいる。毎回、大きな歌声をひびかせながら実施しており歌声喫茶で新たな雰囲気も生じ、楽しく健康的な歌声喫茶となっている。参加者も時折増えることもあり増加傾向は嬉しい。今後も、さらに歌の愛好者が増え継続してほしいと考えている。3月は新型コロナウイルスの感染防止のため中止とした。

#### (18) 生け花教室

毎週第2・4月曜日に、町内外から生け花の愛好者が、日常生活に生け花を取り入れ楽しんでいる。先生は地元の鈴木隆子先生と赤崎町の三浦良子先生が主宰し開催している。今後も、様々な綺麗な花などを取り入れた、生け花の魅力をアピールしながら、教室を開催している。参加者を増やし教室を開催してほしいと考えている。3月は新型コロナウイルスの感染防止のため中止とした。

#### (19) 居場所ハウス買い物送迎

令和元年6月から、毎月第4金曜日、10時から12時頃まで、町内の社会情勢は人口減少・高齢化・少子化が顕著に進んできていることに加え、交通事情の不便性から、日常の買い物不便解消のため、社会福祉法人のバスを無料借用し、大船渡方面への買い物送迎を実施しており、楽しく触れ合いながらの買い物となって、参加者喜の喜びの声もあり回毎に増加している。今後も継続することが期待されているものとする。

買い物送迎の参加者延べ112人平均11.2人

#### (20) 椿の回収と殻むき作業委託事業

オープンから7年を迎えた。これまで自主事業として、朝市・食堂・農園・委託販売を実施し、居場所ハウスの運営資金に充当してきた。新たな事業として、市及びから椿の実の回収業務及び民間業者から、椿の殻むき作業を受託し本格的に実施している。木曜日除き毎日、居場所ハウスを訪れる地域住民やスタッフやサロンの方々が、和やかに触れ合いながら実施している。今後も、市の椿の産業化の一役を担うとともに、居場所ハウスの運営資金の一助とするためにも、市や民間業者と様々な事業委託に向け、連携を深めながら継続していきたい。

## (21) 施設利用・活用

居場所ハウスは、午前10時から午後4時までの開館で、多くの方法で利用・活用されているが、特に小・中学校の親子父母の会や山岸仮設お茶っこの会、老人クラブ、婦人会、市福祉課、赤十字奉仕団、黒部市 HANA コンサート及びノースウイースタン大学・東北大学の研修などの利用があり、大変有難いと思っている。今後も、その都度声掛けを励行し利用の増加につなげたい。

また、午後4時から午後9時までの利活用を普及促進し、利便性の向上に努めてきた。元年度は、一部の団体と子どものエンパワメントいわてが、月・火・金曜日「学びの時間」として使用しており、利活用が図られている。今後も、居場所通信や使用者等に周知し、より一層の利活用に努めるものとする。

## (22) 寄付金・助成金等の活用

地域の様々な人々が、誰もが気軽に立ち寄り、自分なりに役割を持ちながら、楽しく自分らしくいられる「居場所」をモットーに建設された、多世代交流施設居場所ハウスの運営・活動に対する会費・寄付金・助成金等により、以下の主な事業を実施した。

### ※元年度の助成金対象

(1)しんきんの絆フォローアップ助成 日本(NPOセンター) 1,000,000円

(2)年賀寄付金配分助成 2,400,000円 2,160,000円 軽ワゴン購入

(3)大船渡共生まちづくりの会 60,000円(手芸教室講師分対象)

(4)JCB 寄付金(日本フィランソロピー協会)

①有給ボランティア4名及びパート雇用3名による、事業運営、活動・日常の施設等の維持管理に対する経費とした。

・パート給料・有給ボランティア賃金 4,146,350円・福利厚生費 3,318円

②各催事・講習会・教室等の謝礼や必要とする物品、材料等の購入により、事業開催等の運営・活動を効果的に実施した。

・催事費 715,000円

③地域住民や高台移転者及び来訪者等に対する食事の提供用とする一年間分の材料を購入し、食堂運営を行った。

・食材費 570,556円

④一年間のまつり・講習会・教室等のチラシ、ポスター印刷や新聞広告の掲載により、各種事業の開催や多世代交流施設居場所ハウスの普及宣伝に努めた。

・印刷製本・広告宣伝費 347,027円

⑤居場所コミュニティカフェの運営に関わる、コーヒー・ゆず茶・ソフトクリーム等を来館者や行事参加者に提供し、親睦交流やふれあいの場の提供に努めた。

・コミュニティカフェ材料費 103,640円

⑥居場所ハウスや食堂と各種機器で使用している水道・電気・ガス・電話を使用して、各種事業の開催や多世代交流施設居場所ハウスの運営・活動を実施した。

・水道光熱費 506,446円・通信運搬費 108,448円

⑦居場所ハウスの運営・活動に使用するための消耗品を購入した。

・消耗品費 321,670円

- ⑦居場所ハウスの建物保険及び来館者等に対する賠償保険に加入し、安心・安全な運営、活動に努めた。  
 ・保険料 244,050 円

(23) 上記以外の各種講習会と教室等の開催 (居場所ハウス主催関係)

- ①三遊亭楽大落語会 (三遊亭楽大落語家)  
 ・4月21日(日) 10:30~11:30 約23名の参加
- ②居場所ハウス映画会 (居場所鈴木理事長担当)  
 ・5月26日(日) 10:00~11:30 10名の参加
- ③親子クッキング教室開催 (渡辺マサ子先生)  
 ・7月27日(土) 10:00~12:00 7名の参加者
- ④親子着物着付け教室開催 (金野ヨシ子先生)  
 ・8月10日(水) 15:00~20:00 7名の参加者
- ⑤笑いヨガ教室 (佐々木寿子先生)  
 ・9月22日(日) 10:00~12:00 16名の参加者
- ⑥おうちパン作り教室 (長谷川千昌先生)  
 ・9月29日(日) 10:00~12:00 12名の参加者
- ⑦深大寺陶芸教室 (馬場咲男先生)山岸仮設同窓会と併催  
 ・10月29日(土) 10:00~12:00 14名の参加者
- ⑧新そば打ち体験講習会の開催 (山下一成先生)  
 ・11月23日(土) 10:00~12:00 11名の参加者
- ⑨親子クリスマスケーキづくり教室の開催 (長谷川千昌先生)  
 ・12月22日(日) 10:00~12:00 27名の参加者
- ⑩姿勢講座の開催  
 ・1月26日(日) 10:00~12:00 27名の参加者

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象 者の範囲 及び人数	事業費 の金額 (千円)
地域コミュニティ支援事業	・多世代交流イベント・講習会等の開催(別紙資料のとおり)	平成31年 4月1日 ~令和 2年3月 31日	居場所ハ ウス	別紙資料 のとおり	別紙資料 のとおり	3,759
学術、文化、芸術振興推進事業	・図書スペースの提供 ・指導者他を招いて陶芸、音楽活動 ・舞踊、囲碁、雑祭りなど伝統文化の継承	同上	同上	同上	同上	30
情報提供活動事業	・ホームページ、Facebook、チラシ、地方紙、記録誌を活用した広報活動 ・調査、視察を目的とする見学者への対応資料の作成	同上	同上	同上	同上	450

調査、研究事業	居場所ハウス開催のイベント、朝市に対する意識をアンケートで調査し、運営・活動に反映させる	同上	同上	同上	同上	4
---------	--	----	----	----	----	---

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)
販売支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂開設による居場所ハウスの運営資金獲得及び地域の高齢者等の生活環境向上支援</li> <li>・朝市による野菜等・委託商品販売</li> </ul>	元年4月1日 ～ 2年3月31日	居場所ハウス	30	913



# 令和元年度 活動計算書

【税込】(単位:円)

NPO法人居場所創造プロジェクト

自 平成31年 4月 1日 至 令和2年 3月31日

	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
<b>【経常収益】</b>			
<b>【受取会費】</b>			
正会員受取会費	232,500		232,500
賛助会員受取会費	45,000		45,000
<b>【受取寄付金】</b>			
受取寄付金	555,237		555,237
交流会寄付金	978,371		978,371
<b>【受取助成金等】</b>			
受取助成金	6,441,336		6,441,336
<b>【事業収益】</b>			
その他事業収益		1,888,026	1,888,026
<b>【その他収益】</b>			
受取利息	37	5	42
雑収益	19,881	10,000	29,881
<b>経常収益計</b>	8,272,362	1,898,031	10,170,393
<b>【経常費用】</b>			
<b>【事業費】</b>			
(人件費)			
パート給料(事)	510,762	890,588	1,401,350
ボランティア賃金(事)	2,745,000		2,745,000
法定福利費(事)	3,318		3,318
人件費計	3,259,080	890,588	4,149,668
(その他経費)			
業務委託費(事)	45,360		45,360
諸謝金(事)	715,000		715,000
印刷製本費(事)	281,527		281,527
会議費(事)	4,180		4,180
権事経費(事)	94,843		94,843
車両費(事)	16,797		16,797
通信運搬費(事)	108,448		108,448
消耗品費(事)	206,032	107,726	313,758
食材費(事)		570,556	570,556
居場所カフェ材料費(事)	69,692		69,692
備品消耗品費(事)	20,412		20,412
修繕費(事)	33,948		33,948
保守管理費(事)	31,400		31,400
水道光熱費(事)	323,244	183,202	506,446
地代家賃(事)	70,000		70,000
賃借料(事)	40,000		40,000
減価償却費(事)	2,031,074		2,031,074
広告宣伝費(事)	65,400		65,400
保険料(事)	244,050		244,050
接待交際費(事)	1,400		1,400
租税公課(事)		51,200	51,200
支払手数料(事)	36,630		36,630
雑費(事)	4,518		4,518
その他経費計	4,443,955	912,684	5,356,639
<b>事業費計</b>	7,703,035	1,803,272	9,506,307
<b>【管理費】</b>			
(人件費)			
人件費計	0	0	0
(その他経費)			
会議費	4,259		4,259
その他経費計	4,259	0	4,259
<b>管理費計</b>	4,259	0	4,259
<b>経常費用計</b>	7,707,294	1,803,272	9,510,566
<b>当期経常増減額</b>	565,068	94,759	659,827
<b>【経常外収益】</b>			
<b>経常外収益計</b>	0	0	0
<b>【経常外費用】</b>			
<b>経常外費用計</b>	0	0	0
<b>税引前当期正味財産増減額</b>	565,068	94,759	659,827
<b>経理区分振替額</b>	89,435	△ 89,435	0
<b>当期正味財産増減額</b>	654,503	5,324	659,827
<b>前期繰越正味財産額</b>	26,548,568	140,635	26,689,203
<b>次期繰越正味財産額</b>	27,209,071	145,959	27,349,030

# 令和元年度 貸借対照表

NPO法人居場所創造プロジェクト  
全事業所

[税込] (単位:円)  
令和2年3月31日 現在

## 《資産の部》

### 【流動資産】

(現金・預金)

普通 預金

4,753,950

現金・預金 計

4,753,950

流動資産合計

4,753,950

### 【固定資産】

(有形固定資産)

建 物

21,341,067

車両運搬具

1,425,000

什器 備品

83,333

有形固定資産 計

22,849,400

固定資産合計

22,849,400

資産の部 合計

27,603,350

## 《負債の部》

### 【流動負債】

前受助成金

254,320

流動負債 計

254,320

負債の部 合計

254,320

## 《正味財産の部》

### 【正味財産】

前期繰越正味財産額

26,689,203

当期正味財産増減額

659,827

正味財産 計

27,349,030

正味財産の部 合計

27,349,030

負債・正味財産合計

27,603,350

## 計算書類の注記

NPO法人居場所創造プロジェクト

令和2年 3月31日 現在

### 【重要な会計方針】

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

### (1). 固定資産の減価償却の方法

建物資産：定額法  
 その他資産：定率法

### (2). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式です。

### 【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

部門件数が1ページ内の最大を超えました。明細は別紙に出力します。

### 【使途等が制約された寄付等の内訳】

[税込] (単位: 円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
JT・NPO助成金	0	1,150,972	1,150,972	0	前期に交付を受けた3,730,000円のうち前期末未使用額1,150,972円は前受助成金として負債計上していましたが、当期事業の実施に伴い、受取助成金として、1,135,656円を活動計算書に計上、残額15,316円は返還しています。
しんきんの絆補助	0	1,000,000	1,000,000	0	今期に交付を受けた1,000,000円全額を今期中に使用、同額を活動計算書に計上しています。
年賀寄附金	0	2,400,000	2,400,000	0	今期に交付を受けた2,400,000円のうち、期中使用額2,347,000円を活動計算書に計上、残額53,000円は貸借対照表に前受助成金として計上しています。
JCB寄附金	0	2,160,000	2,160,000	0	今期に交付を受けた2,160,000円のうち、期中使用額1,958,680円を活動計算書に計上、残額201,320円は貸借対照表に前受助成金として計上しています。
合計		6,710,972	6,710,972		

### 【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期首取得価額	取得額	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
建物	31,463,061	0	0	31,463,061	△ 10,121,994	21,341,067
車両運搬具	0	1,800,000	0	1,800,000	△ 375,000	1,425,000
什器 備品	2,241,127	0	0	2,241,127	△ 2,157,794	83,333
合計	33,704,188	1,800,000	0	35,504,188	△ 12,654,788	22,849,400

## 事業費の内訳（別紙）

NPO法人居場所創造プロジェクト

令和2年 3月31日 現在

(1/2)

【税込】（単位：円）

科目	特定非営利活動に係る事業				
	法人管理本部	居場所創造プロジェクト	年賀寄附金	しんがいの地 補助金事業	JTB-NPO助成金
(人件費)					
パート給料(事)		111,324	90,000	226,525	82,913
ボランティア賃金(事)			1,800,000	405,000	540,000
法定福利費(事)		3,318			
人件費計	0	114,642	1,890,000	631,525	622,913
(その他経費)					
業務委託費(事)		45,360			
諸謝金(事)			294,000	225,000	196,000
印刷製本費(事)		49,708	99,044	45,000	87,775
会議費(事)			4,180		
催事経費(事)		72,977		21,866	
車両費(事)		3,930			
通信運搬費(事)		70,716	5,076	3,185	29,471
消耗品費(事)		134,037		40,424	20,558
食材費(事)					
居場所カフェ材料費(事)		69,692			
備品消耗品費(事)		20,412			
修繕費(事)		33,948			
保守管理費(事)		31,400			
水道光熱費(事)		251,389			71,855
地代家賃(事)					70,000
賃借料(事)			20,000		20,000
減価償却費(事)		2,031,074			
広告宣伝費(事)				33,000	32,400
保険料(事)		104,150	5,100		
接待交際費(事)		1,400			
租税公課(事)					
支払手数料(事)		7,030	29,600		
雑費(事)		4,518			
その他経費計	0	2,931,741	457,000	368,475	528,059
合計	0	3,046,383	2,347,000	1,000,000	1,150,972

(2/2)

【税込】（単位：円）

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
	JCB寄附金	しんがいの地 寄附金	
(人件費)			
給料 手当(事)			
パート給料(事)		890,588	1,401,350
ボランティア賃金(事)			2,745,000
法定福利費(事)			3,318
人件費計	0	890,588	4,149,668
(その他経費)			
業務委託費(事)			45,360
諸謝金(事)			715,000
印刷製本費(事)			281,527
会議費(事)			4,180
催事経費(事)			94,843
車両費(事)	12,867		16,797
通信運搬費(事)			108,448
消耗品費(事)	11,013	107,726	313,758
食材費(事)		570,556	570,556
居場所カフェ材料費(事)			69,692
備品消耗品費(事)			20,412
修繕費(事)			33,948
保守管理費(事)			31,400
水道光熱費(事)		183,202	506,446
地代家賃(事)			70,000
賃借料(事)			40,000
減価償却費(事)			2,031,074
広告宣伝費(事)			65,400
保険料(事)	134,800		244,050
接待交際費(事)			1,400
租税公課(事)		51,200	51,200
支払手数料(事)			36,630
雑費(事)			4,518
その他経費計	158,680	912,684	5,356,639
合計	158,680	1,803,272	9,506,307

# 財 産 目 録

全事業所

[税込] (単位: 円)  
令和 2年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
普通 預金	4,753,950		
農協 居場所コミュニティ	(4,353,671)		
ゆうちょ 年賀寄附金	(53,000)		
農協 朝市食堂事業	(145,959)		
農協 JCB寄附金	(201,320)		
現金・預金 計	<u>4,753,950</u>		
流動資産合計		4,753,950	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建 物	21,341,067		
車両運搬具	1,425,000		
什器 備品	83,333		
有形固定資産 計	<u>22,849,400</u>		
固定資産合計		<u>22,849,400</u>	
資産の部 合計			27,603,350
《負債の部》			
【流動負債】			
前受助成金	254,320		
その他補助	(254,320)		
流動負債 計	<u>254,320</u>		
負債の部 合計			<u>254,320</u>
正味財産			<u><u>27,349,030</u></u>